

【川東地区】

「人・農地プラン」第1回地域懇談会概要

■ 開催日時等 令和3年12月18日 午後6時から 広陵町役場 大会議室

■ 参加者数 22人

■ 概要

- 1 「人・農地プラン」及びアンケート結果の説明
- 2 ワーキング・グループ（3班）による討議

◆地域の課題

担い手

- 子供はやりたがらず、後継者や人手不足、いない。（売却したい。）
- 年齢的、体力的につらく、続けられない。
- 入作者が多くなると、農作業等の調整が難しい。
- 農業に魅力がなく、農業をしたい若者がいない。

農地・水

- 湿田であり、面積の小さい水田が多く、ほ場整備されていないことから土地形状が不整形で耕作しづらく、耕作放棄地も多い。
- 土地を集約したい。土地を買いたい。
- 大規模農業する力がない。
- 農機具の進入が困難
- 水管理が大変であり、人手が少なくなっている。
- 用水路の老朽化が進んでいる。
- 取水しやすくするため、現在の板堰をファブリックダムなどへ改修
- 既設のファブリックダムの補修やその費用が不安

営農

- 米価は低く、肥料、農薬が高く、利益が出ず、赤字である。
- 農機具は老朽化しているが、農機具が高く、更新できない。

その他

- ジャンボタニシやタウナギ（畦からの漏水）による被害

◆現状と将来の農業者等

現 状

- 自作、家族
- 知人との受委託
- A社

将 来

- 自作
- 集積して自作
- 子供
- 知人など
- 企業や営農組合
- 担い手に集約して放棄地の解消
- 役場（区画整理した後）
- 後継者不在（子供がしてくれるか不明、子供にさせられない。）
- 土地売却
- 住宅化